

およたま通信

Vol.13

「およたま通信」名前の由来
大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。

油事故が多発しております

今年度も大雪及び低温が続き、年末からホームタンク等からの油流出事故が相次いで(1週間で3件)発生しております。

1月6日(金)大仙市若竹町付近で、油事故が発生し、付近の側溝へ流出しました。(原因不明)

消防や市役所などが出動して、側溝にオイルフェンスを設置し、国土交通省でも丸子川への流出を防ぐために、油の回収作業を行いました。

河川パトロールの結果、今回の油流出事故による丸子川下流での異常はありませんでした。

今後も雪が降り積もることが予想されることから、落雪によるホームタンクの損傷、配管の損傷など日頃の管理には気をつけて下さい。

特に、急激な油量の変化があった時は、破損の可能性が疑われますので、ご注意願います。

また、ホームタンクからポリタンクへ灯油を移す際は、作業が終わるまでその場を離れないようにしてください。

万が一、事故を起こしてしまったり、油漏れを発見した時は、警察署、消防署、市役所、国土交通省まで直ちに連絡してください。



丸子川への流出を防ぐためのオイルフェンス設置後の様子



吸着マットを設置している様子



回収した油膜

油の流出事故が多発しています!

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油類が漏れ出し、河川などに流れ出す事故が増えてきています。そして、その多くが人的ミスによるものです。

油1缶50万円!!



事故を起こすと補償の範囲に約50万円の費用がかかってしまいます。そして、その費用は事故を起こした**原因者**が責任を持って負担しなければなりません。

●その場を離れない・目を離さない
ホームタンクなどから油類が漏れ出すと事故の原因になります。その場を離れないようにしましょう。
●屋根からの落雪や給油時には注意を
屋根からの落雪や給油時に給油機やホースに注意しましょう。
●配管の場所には目印を
配管の場所を覚えておくことが大切です。雪の厚い場所でも分かるように目印を立てておきましょう。
●定期点検を怠らない
配管やホームタンクの定期点検を受けましょう。

- ### 油事故を防ぐための心がけ
- ①ホームタンクなどから灯油を小分けするときはその場を離れない
 - ②屋根からの落雪や除雪時の廃油缶損傷やホース脱落に注意!
 - ③配管の損傷を防ぐため雪囲いをしたり、配管の場所に目印を立てる
 - ④配管やホームタンクの定期点検を怠らない